

(様式3)

平成30年度 指定管理業務の評価表

1 施設概要

施設名	いせ市民活動センター	所在地	伊勢市岩淵1丁目2番29号
指定管理者名	特定非営利活動法人 いせコンビニネット	指定期間	平成29年4月1日～平成32年3月31日
設置目的	市民公益活動を支援するとともに、市民の交流する場として利用に供することにより、市民の福祉の増進及び文化の向上並びに地域の振興に寄与するため。		
業務内容	1.センターの事業実施に関する事(市民公益活動に関する事) 1.センターの維持管理に関する事 1.センターの管理管理に関する事 1.センターの利用に関する事		
施設概要	施設面積 2463.3㎡、鉄骨造 南館:地上2階 事務室1・会議室3・貸ブース6 北館:地下1階 地上2階 事務室1・会議室2・ホール2		
職員体制	センター長 1名 職員 3名		
施設所管課名	市民交流課		

2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位:円)
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	比較(C-B)
事業収入	指定管理料	11,924,324	14,255,000	13,263,000	△ 992,000
	利用料金	8,247,180	9,672,145	8,456,830	△ 1,215,315
	その他	677,899	693,185	679,972	△ 13,213
	計(a)	20,849,403	24,620,330	22,399,802	△ 2,220,528
事業支出	人件費	11,675,109	13,605,581	13,457,673	△ 147,908
	管理運営費	9,043,267	10,545,819	9,287,044	△ 1,258,775
	その他				0
	計(b)	20,718,376	24,151,400	22,744,717	△ 1,406,683
収支差引額(a)-(b)		131,027	468,930	△ 344,915	△ 813,845

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載	指定管理料(収入減)、管理運営費(支出減)…指定管理期間(H29～31)のうち初年度(H29)の設備導入費用分の差額による減 利用料金(収入減)…市役所耐震工事終了により会議室代替利用が無くなった影響による減
----------------------------------	---

3 評価 (別表様式4に基づく総合評価)

指定管理者	市
施設管理・運営並びに市民活動団体への支援については、概ね年度当初の計画通り実施できた。 なお、今年度初めて開催した「チラシコンテスト」では、登録団体だけでなく市当局の協力により、まちづくり協議会の数団体の参加を得たことは大きな成果だった。今後も継続して取り組んでいきたい。 更に、自主事業を開催するにあたっては、次世代を担う若者との連携を図ることで、市民活動を活性化させることができた。今後は、さらに市民への広がりを目指していきたい。 また、昨年度より始めた市民活動支援に向けた自主財源確保のためのコーヒー販売について、その一部を新年度の自主事業において有効活用したい。	施設の管理運営については、適正に行われていた。市民活動団体へのサポートについても、期待どおりに行われていた。 自主事業において、若者の参画による世代間の交流だけでなく、まちづくり協議会等のような地域の団体とも交流ができた。 また、伊勢市ボランティアセンターと連携して豪雨による被災地への支援を行っていただいた。 募金活動においても被災地支援や市民活動支援のために積極的に呼びかけていただいている。 今後も、市民公益活動促進委員会の委員等の意見をふまえ、いせコンビニネットと市民交流課で話し合いながら「市民のためのまちづくり」が活性化するよう公益活動団体への中間支援施設としてより一層成長するよう努めてもらいたい。

(様式4)

指定管理業務の項目別評価表

評価項目		評価			
		指定管理者		市	
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由
施設設置目的の達成	①施設の目的や基本方針の理解	A	施設の目的や基本方針を十分理解し管理を行った。	A	概ね、施設の目的や基本方針を十分理解し管理を行われていた。
	②施設設置目的の達成度	A	施設の目的である「健康や福祉の増進」に資することができた。	A	施設の利用状況及び管理状況から施設の設置目的は達成された。
	③利用者数	B	僅かではあるが、昨年度より利用者は減少した。	B	昨年度より利用者は減少した。
	④運営状況	A	事業計画書にそって、供用日数・供用時間は確保した。	A	適切に運営されていた。
	⑤職員の配置状況・勤務実績	A	作業責任者、業務担当者を設定し、適正な配置による勤務体制が取れた。	A	適切に勤務体制が行われていた。
	⑥意思疎通	A	業務報告や必要に応じた業務打合せを行い意思疎通を図った。	A	随時、管理運営業務等の連絡が行われていた。
	⑦各種管理記録等の整備・保管	A	点検記録、整備・修繕等の各種管理記録を整理保管している。	A	適切に保管されていた。
	⑧地域の振興	A	広報活動や自主事業の積み上げによって、活動について市民に認知され集客も期待できるようになった。また、次世代との交流も事業に活力を与えた。	A	市民活動団体の以外にもまちづくり協議会等の地元とも交流が行われていた。
	⑨使用許可等	A	使用許可申請等の取扱いは、個人情報保護の立場からも慎重かつ適正に処理した。	A	使用許可等申請が適正に行なわれていた。
	⑩利用料金等の徴収状況	A	各種の帳簿はもれなく作成し、適正に徴収した。	A	各種の帳簿はもれなく作成し、適正に徴収した。
	⑪個人情報	A	担当者により、毎月チェックを行った。また個人情報保護についての研修会も実施した。	A	個人情報は適切に取扱われていた。
	⑫法令遵守	A	労働基準法、個人情報保護法等各種法令を理解し、遵守した。	A	関係法令を遵守していた。

(様式4)

指定管理業務の項目別評価表

評価項目		評価				
		指定管理者		市		
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由	
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み	利用者数の増加や利便性を高めるための具体的な取り組みが行なわれていたか。	A	利用者からの意見を可能な限り反映させ、サービス提供に努めた。	B	よりよいサービスが提供されていたが、施設内の工夫がより必要である。
	②利用者の平等な利用	個々のサービスについて、対応職員によって格差が生じないよう、施設のサービス水準を確保するための取り組みを行なったか。	A	定例会、あるいは必要に応じた職員打合せにより情報共有を行い、サービス水準の確保に努めた。	A	サービス水準については期待される水準にあった。
	③適切な情報提供	全ての利用者が情報を得ることができるよう適切な利用情報の提供を行なったか。	A	情報誌「パルティエ」の発行をはじめ、ホームページや市広報、ZTV等様々な媒体を通じて情報発信を行った。	B	多くの利用者に見てもらえるように現在の情報発信等に、より工夫が必要である。
	④非常時・緊急時の対応	緊急時のマニュアルが整備され、従業員訓練の実施や事故発生時・緊急時の対応は適切か。	A	非常時のマニュアルの見直しや職員による避難訓練を実施し緊急時の対応に備えている。	A	非常時のマニュアルの見直しや職員による避難訓練を実施し緊急時の対応に備えている。
	⑤苦情解決体制及び対応	利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたか。また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。	A	迅速かつ適切な苦情処理体制を整えている。	A	適切に処理されていた。
	⑥自主事業	利用者ニーズに即した自主事業が行なわれていたか。	A	課題となっている若者の参画や交流を進めるため、大学生に運営や活動成果発表を積極的に関わってもらった。	A	従来の利用者だけでなく、若者やまちづくり協議会等の地元とも交流が行われていた。
	⑦事業の評価	事業実施後に確認・見直しが行なわれ、次年度へつなげる取り組みがなされていたか。	A	事業終了ごとに報告書を作成し、成果や課題を検証し次回に反映できるよう努めた。	A	運営委員会を年2回開催し、委員の意見をもとに、次年度に概ね反映されていた。
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	建物・設備・植栽等が適切に管理され、安全性の確保、良好な機能及び美観の保持がされていたか。	A	定期的に安全点検、機能確認、環境整備を行っている。	A	定期的に保守点検が行われていた。
	②備品等の管理	備品の管理・点検・保守は適切に行なわれていたか。	A	丁寧な扱いを心掛け、破損・紛失等はなかった。	A	適切に管理されていた。
	③修繕業務	点検によって異常が認められた場合は、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じ、その内容を記録されていたか。	A	自主修繕、業者依頼等その状況により適切に処理した。	A	随時、自主修繕・業務依頼等の報告が行われていた。
	④清掃業務	清掃は適切に行なわれていたか。	A	計画的な清掃を行い、清潔感を保持している。	A	適切に清掃業務が行われていた。
	⑤防犯体制	鍵の管理及び防犯に対する対策、対応は適切だったか。	A	鍵は、定められたしかも施錠できる場所に保管している。	A	鍵の管理及び防犯対策が適切に行われていた。